

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	スマイリーワークプラスA
住 所	沖縄県西原町棚原 1 8 2 番地 1
電話番号	098-987-6655

事業所番号	4710900731
管理者名	野崎 幸浩
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

宜野湾市：大手スーパー 10月9日
 沖縄市： 県内大手遊技場 11月20日
 北谷町： 県外大手量販店 11月27日
 中部地区障害者就業・生活審センターの「お仕事体験」を通して、実際の企業にて品出しや清掃などを行った。
 利用者数 3人

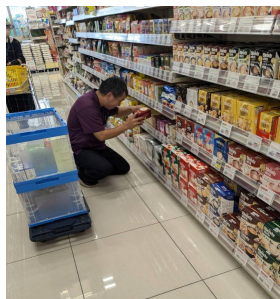
<目的>

就業支援センターとの連携により実施する企業実習により、強く一般就労を意識する点で意義がある。
 利用者にとっても働くということがより現実的に実感でき、その後の就労意欲の向上につながることを目的としている。

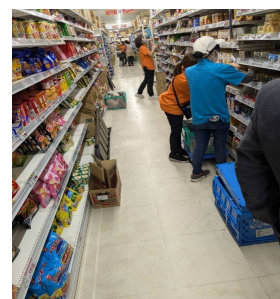
<成果>

一般就職の壁を感じて、少し落ち込んだ面もあったが、体験を経て自信につながった面もあり、就労意欲の向上のためにも、今後も出来る限り継続をしたい。
 取りまとめ事業所や実習先企業への打ち合わせ、利用者の送迎等、施設外作業の多い事業所の負担は大きいと思われる。

<活動の様子>



10月9日 スーパーで商品陳列の様子



11月27日 量販店での商品の品出しの様子



11月20日 遊技場での清掃の様子

連携先の企業や事業所等の意見または評価

就業体験は利用者と企業を就職へとつなぐ大切なイベントで、利用者も真剣に取り組み、受け入れ企業からの評価も高い。

遊技場で体験した利用者については、採用したい旨の打診もあったが、家族からお客さんからのクレームに精神的に耐えられないのではないかと心配して就職にはつながらなかった。

今後も、企業、事業所、就業支援センターと連携して、一般就労につながるよう利用者を体験させていきたい。

連携先企業（担当者）	中部地区障害者就業・生活支援センター 花灯 担当 知花 エリカ
------------	---------------------------------

利用者からの意見・評価

○今回の就業体験は、北谷町の量販店の品出し等を行いました。当日は、職員が同行はしましたが、実習（現場）では、一人で品出しなどを行い不安な気持ちもありましたが、慣れてくると作業でわからないことを職員に質問して聞くことが出来たので少し自信になりました。できれば、いろいろな体験をして一般就労に向けて頑張りたいと思います。「量販店で体験した C.Yさん」

○はじめは緊張したが、ホールの清掃や窓ふきを行いました。あっという間に時間が過ぎた感じです。その後、採用のお誘いがありましたがお客さんからのクレームに精神的に耐えられないのではと両親も心配し、私ももう少しA型事業所で経験を積んでからと思い、今回は辞退しました「遊技場を体験した K.Mさん」

○商品の品出しや陳列など作業はスムーズにできた。今後は自宅から少し離れた場所ので働きたいのでそれに向けて頑張っていきたい。

「スーパーで体験 Z.Rさん」